

第3章 小都市の子どもや子育てを取り巻く課題

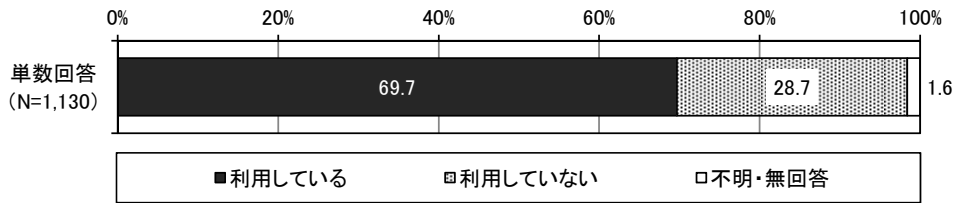
1 教育・保育の提供

(1) 教育・保育事業について

定期的な教育・保育事業の利用の有無については、「利用している」割合が前回調査より増加（前回は48.5%）しています。また、現在利用している事業及び今後利用したい事業としては、「認可保育所」「公立・私立幼稚園」が多く、利用希望では「幼稚園の預かり保育」や「認定こども園」も2割程度となっています。

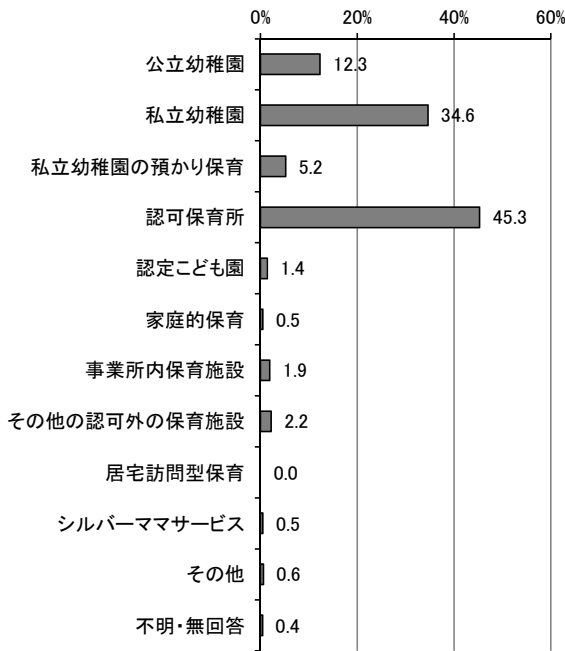
現在未就労の母親の就労希望が高いことから、今後教育・保育ニーズのさらなる高まりが予測されます。待機児童の解消とあわせ、柔軟に子どもを受け入れることができる体制づくりが必要です。

■ 定期的な教育・保育事業の利用の有無



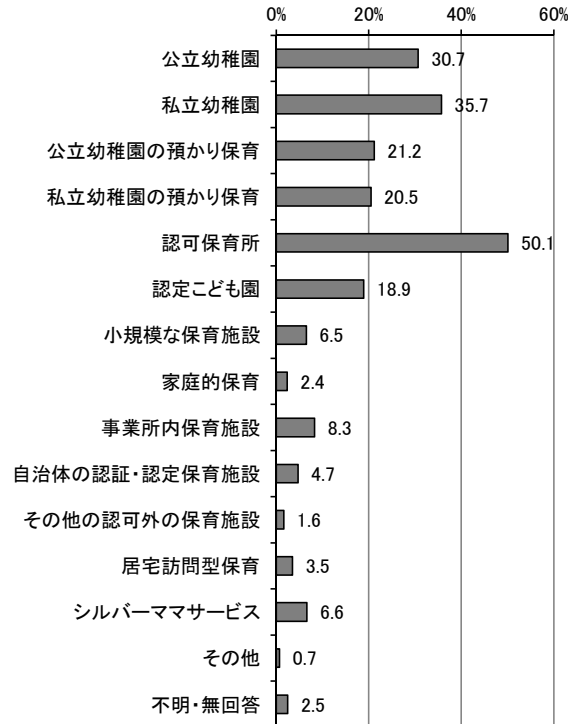
■ 現在利用している教育・保育の事業

複数回答 (N=788)



■ 今後利用したい教育・保育の事業

複数回答 (N=1,130)



自由回答等より関連意見

- ・ 公立幼稚園も3年保育にしてほしい。
- ・ 公立幼稚園での預かり保育をしてほしい。
- ・ 保育料が高い。
- ・ 第3子に対する保育料の緩和を希望したい。
- ・ 待機児童をなくし、希望する保育園に兄弟揃って入所できるように努力してほしい。
- ・ 保育所を増やすか、定員を増やして待機児童を解消してほしい。

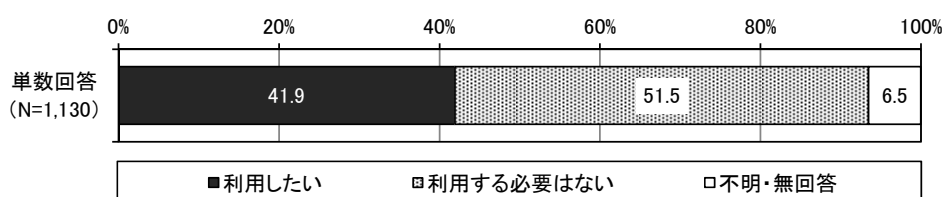
(2) 子育て支援事業について

①一時預かり等について

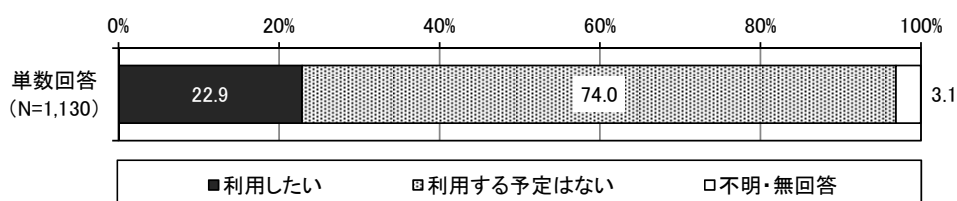
私用、親の通院、不定期の就労等の目的による、不定期な教育・保育事業の利用希望の有無については、「利用したい」が41.9%となっています。また、現在実施しているシルバーママの利用意向については、「利用したい」が22.9%となっており、そのほとんどが、祖父母や友人等に預かってもらえないときに利用したいと考えています。これらのことから、一時的な子どもの預かりに関する要望があることがうかがえます。

自由回答等からの関連意見では、シルバーママサービスの周知不足がうかがえることから、その情報提供を充実させ、一時預かりの受け皿として利用を促進する必要があります。さらに、子育て世代のボランティア参加意向を生かし、地域で助け合いができる体制をつくっていくことが求められます。

■不定期な教育・保育事業の利用希望の有無

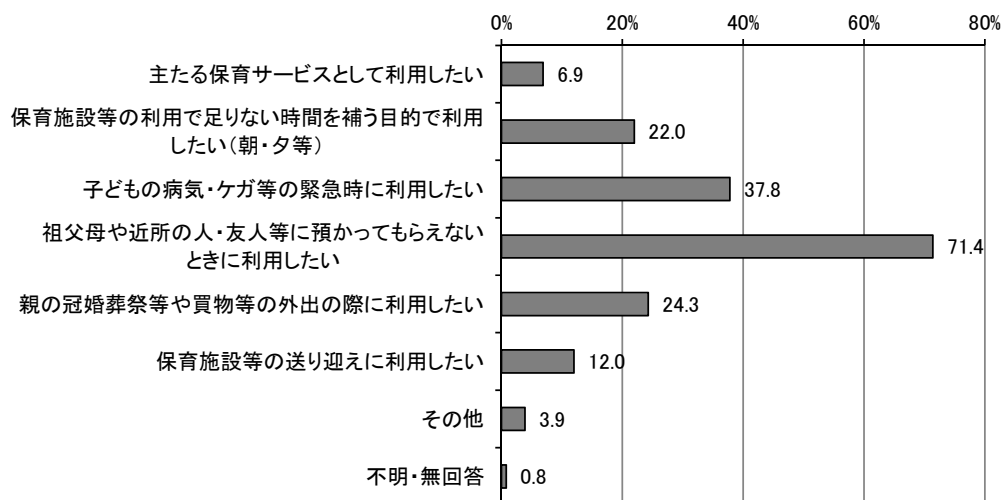


■シルバーママサービスの利用意向（就学前）



■どのような目的で利用したいと思うか（就学前）

複数回答(N=259)



自由回答等より関連意見

- ・シルバーママについて、もう少し具体的に誰でも利用できるようなパンフレット等作成してほしい。
 - ・シルバーママサービス事業があることを知らなかった。もっと知る機会が増えたらいいと思う。
- 30歳代では、「児童福祉・子育て支援（子育て相談や子育てサークル支援など）」のボランティア活動への参加意向がある。

○：小郡市地域福祉計画 分野別課題調査より

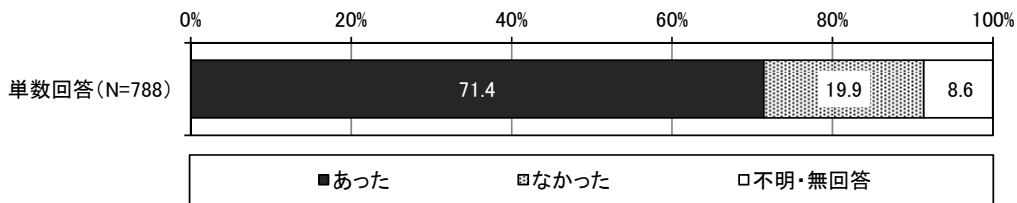


②病児・病後児保育について

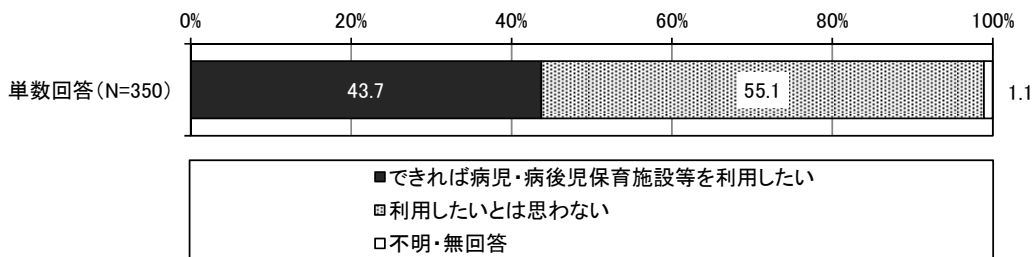
この1年間に、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無については、「あった」が71.4%となっており、そのうち43.7%が「できれば病児・病後児保育等を利用したい」と回答しています。

自由回答等からの関連意見でも、病児・病後児保育の充実を求める意見がみられるため、ニーズを踏まえ、事業の拡充を図ることが必要です。

■この1年間に、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無（就学前）



■できれば施設に預けたいと思ったか（就学前）※対処方法として父親・母親が休んだ方のみへの質問



自由回答等より関連意見

- ・病児保育、病後児保育を充実させてほしい。
- ・病児保育は、月曜日も預かってほしい。
- 子どもが病気になった時、感染症で幾日も会社を休まなければならない時、困っている。
- 共働き家庭が多いので、子どもの病気時の対応が大変のようだ。

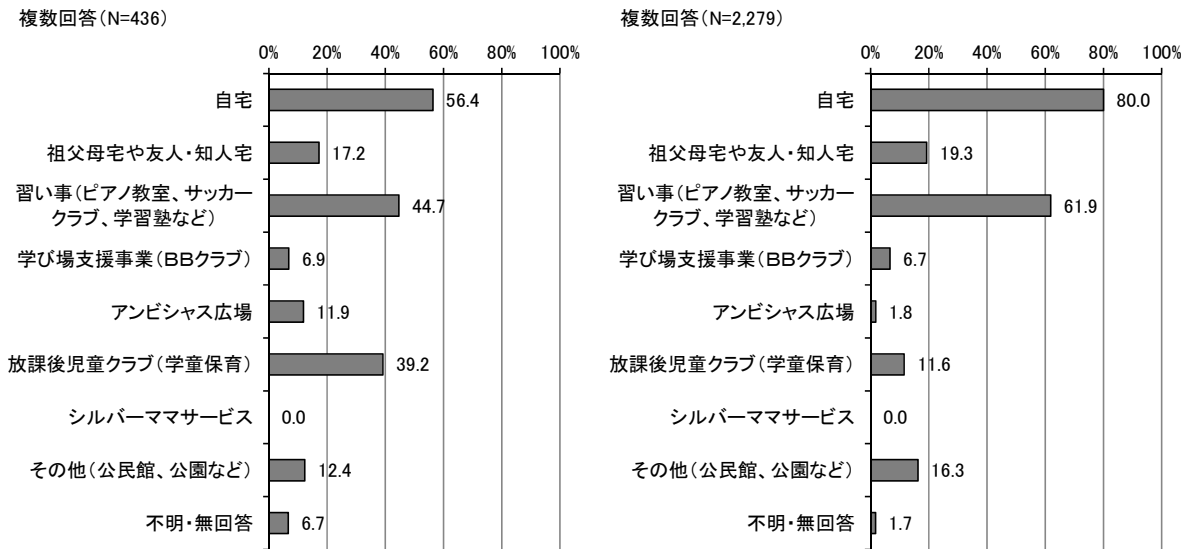
○：小郡市地域福祉計画 分野別課題調査より

③放課後の過ごし方について

就学前において、小学校低学年で希望する放課後の過ごし方については、「放課後児童クラブ（39.2%）」よりも「自宅（56.4%）」や「習い事（44.7%）」が多くなっています。一方、小学生の現在の放課後の過ごし方は、「自宅（80.0%）」に次いで「習い事（61.9%）」が多く、「放課後児童クラブ」は11.6%となっています。

就学前児童の希望と、小学生の実態とでは差がみられるものの、自由回答等からの関連意見では、学童保育に関するさまざまな要望もあがっているため、それらを踏まえ事業の充実を図る必要があります。

■小学校低学年で希望する放課後の過ごし方（就学前） ■子どもの現在の放課後の過ごし方（小学生）



自由回答等より関連意見

- ・夏休みや冬休みだけでも学童保育に通えるようにしてほしい。
- ・学童利用料金をもう少し安くしてほしい。
- ・学童保育の利用時間をもう少し長くしてほしい。
- ・夏休みなど長期休暇中の、子どもの居場所が少ないと思う。

2 地域の中の子育て環境づくり

(1) 子育て家庭への支援について

(サークル活動、相談・情報提供、経済的支援など)

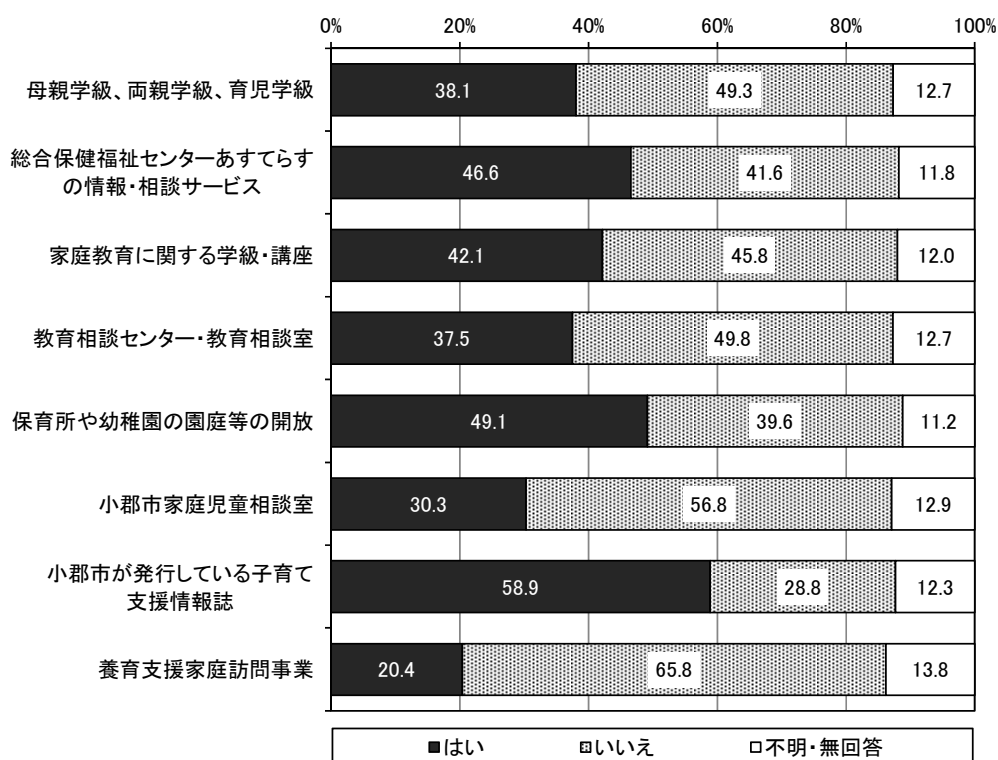
子育て支援サービスの利用意向についてみると、「小郡市が発行している子育て支援情報誌」が58.9%と最も多く、前回からも増加しています（前回は53.3%）。

また、自由回答等からの関連意見をみると、子育てに関する情報が十分に行き届いていないことや、子育ての悩み・不安を抱える保護者が多いことがうかがえます。

さまざまな事業の中から適切なものを選択・利用できるよう、情報提供の充実に努めるとともに、保護者の不安解消に向けて相談支援や仲間づくりを支援する必要があります。

■子育て支援サービスの利用意向

単数回答 (N=1,130)



自由回答等より関連意見

- ・子育てに関して、どんなサービスがあるのかわからない。
- ・もっと情報を公開してほしい。また、わかりやすくしてほしい。
- さまざまな行政サービスがあるが、まったく知らずに過ごしている人も多いと感じる。
- サービスの内容等の情報提供が不十分。地域や就学前教育機関と連携し、必要な家庭に必要なサービスが届くようなシステムづくりをする。
- ・子育てについて気軽に相談できる場所が増えればいいと思う。
- ・身近に相談できる人がいない。利用できる相談のサービスや託児のサービスの情報をどこで得ればいいのかわからない。
- 地域コミュニティが希薄で孤立し、不安を抱え込んでいる人が多いように感じる。
- 保護者は子育て等に不安があるが、どこに相談してよいか分からない場合がある。
- 子育てに悩んでいる保護者が多くなったことを感じる。
- ストレスを抱えている保護者が多いと思うので、子育てについて気軽に相談できる仲間づくりが必要。
- ・児童手当を充実させてほしい。

○：小郡市地域福祉計画 分野別課題調査より

(2) 子どもの居場所づくり

自由回答等からの関連意見をみると、公園を含めた子どもの放課後の居場所づくりについて、充実を求める意見がみられます。

子どもが安全に過ごすことができるよう、公園の整備をはじめ、既存の施設を活用し居場所づくりの充実を図っていく必要があります。

自由回答等より関連意見

- ・近くの公民館などで、放課後に見守り活動など（宿題をみてもらったり、図書館など）をしてほしい。
- ・放課後の遊び場として近所の公園を利用しているが、ボール遊びができる公園がない。遊べる環境を整えてほしい。
- ・公園の遊具が古すぎて危険。公園が少ない。
- ・子どもを遊ばせる場所がもっと増えてほしい。

(3) 子どもにやさしいまちづくり（バリアフリー、事故・防犯対策など）

子どもを地域で育む環境づくりとして、子どもの安全・安心の確保は大変重要なものです。通学路の整備や事故・防犯対策などに継続して取り組むとともに、バリアフリー化など、子どもや子育て家庭にやさしいまちづくりを推進していく必要があります。

自由回答等より関連意見

- ・通学路となる道が、歩道も狭く危険なので整備してほしい。
- ・通学路に歩道がなく、登校時が心配。
- ・子ども用のトイレや便座を設置してほしい。

(4) さまざまな家庭への子育て支援について（ひとり親家庭、障害のある子ども）

自由回答等からの関連意見をみると、ひとり親家庭や障害のある子どものいる家庭への支援の充実を求める意見が、多くあがっています。すべての子育て家庭が安心して過ごせるよう、ひとり親家庭や障害のある子どものいる家庭をはじめ、社会的に困難な立場に置かれたあらゆる家庭への子育てを支援することが求められます。

自由回答等より関連意見

- ・ひとり親家庭の支援を充実させてほしい。
 - ・医療費や補助金制度など、ひとり親家庭に対する支援がまだまだ不足している。
- 母子家庭や父子家庭では、ひとりの親に子育ての負担がかかり、親が疲れきっている。
- 働きながらひとりで子育てをしている家庭は、子育てに余裕がなく、ひとりで抱え込んでいる。
- ・軽度の障害のある子どもにも加配の保育士がほしい。
 - ・障害のある子ども預かってもらえるような施設をもう少し増やしてほしい。
 - ・障害のある子どもたちの居場所づくりもしていただけたらと思う（現在、あることはあるが、回数や場所が少ないように思う）。
 - ・発達障害等を勉強できる機関や、相談できる場所があること、あるいは、そういう場所へ促していける制度、流れを明確につくってほしい。

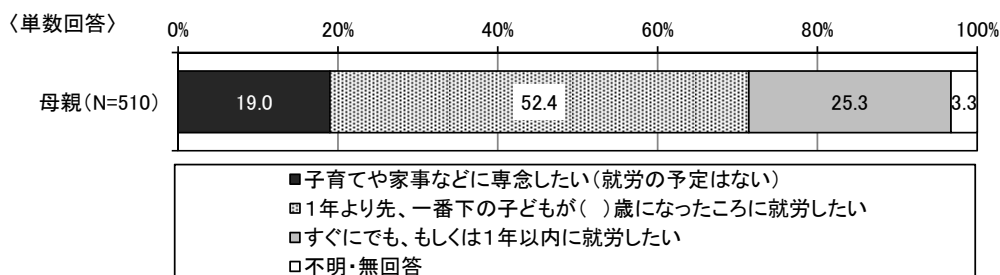
○：小郡市地域福祉計画 分野別課題調査より

3 仕事と子育ての両立支援

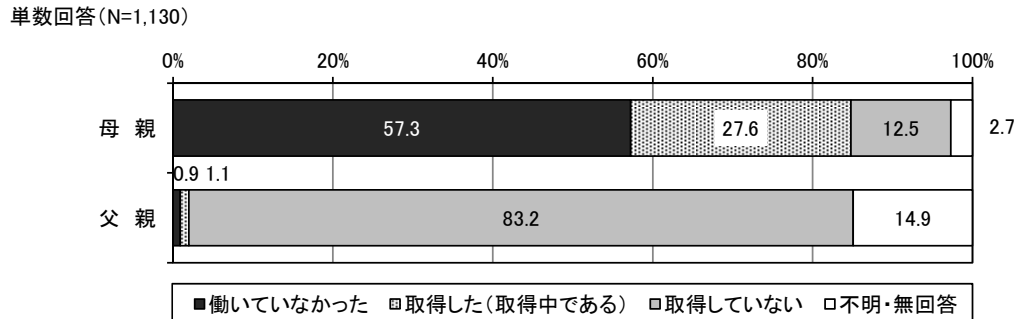
現在未就労の母親については、約8割が就労希望があることがわかります。また、育児休業については、母親の27.6%が取得しているものの、父親は1.1%と少なくなっています。

自由回答等からの関連意見でも、父親の育児休業取得が難しいことや、企業への呼びかけが求められていることから、それらの改善に向けて取り組みを進める必要があります。また、就労を希望する母親が多いため、女性の再就職や職場復帰を支援することも重要です。

■現在未就労の母親の今後の就労希望（就学前）



■母親・父親の育児休業の取得状況（就学前）



自由回答等より関連意見

- ・女性は子どもを産む幸せを感じる反面、子どもか仕事か選べないといけなのが現実。産休を取るということをすべての人が当たり前だと思える社会になってほしい。
- ・父親が育児休業を取るの難しいし、有休さえ取れないので、母親の負担が大きすぎる。
- ・男性の育休取得については、まだまだ職場の理解、協力が必要だと感じるが、今後市の方でもパパの子育て教室を開催するなど、男性の育児参加を支援していただきたいと思う。
- ・市で子育てに対する支援をしていただくことは大変よいことだと思う反面、企業側はそれについていけない。施設をつくることも大切だが、企業に対する呼びかけも引き続き行っていただきたい。

4 親子の健康確保

自由回答等からの関連意見をみると、医療費の負担軽減や小児科医院が少ないとの意見があがっています。

親子の健康を確保するため、医療環境の充実に努めるとともに、予防の観点から各種健診や生活習慣の改善にも取り組む必要があります。

自由回答等より関連意見

- ・小学生まで医療費を無料にしてほしい。
- ・医療費の負担を減らしてもらいたい。
- ・小郡市に小児科医院（0～5歳対象）が少ないと思う。
- ・インフルエンザ時に預かってもらえる施設がほしい。

5 教育と人権擁護

（1）子どもの権利の尊重について（虐待、いじめへの対策など）

自由回答等からの関連意見をみると、地域における連携の必要性を訴える意見が多くみられます。特に虐待については、未然防止の観点からも、地域の連携・協力が不可欠です。地域や関連機関との連携を密にし、虐待やいじめへの対策など、子どもの権利を守るための体制をより一層強化する必要があります。

自由回答等より関連意見

- 虐待を地域みんなで防止しようという意識をもつことが大切だと思う。
- 子どもや親の様子で気になることがあれば、地域のなかで連携を図り、その家族を見守っていくことが大切だと思う。
- 近所づきあいが深くなり、お互い様子が分かり合うと、虐待の防止にもつながると思う。
- 近所で気になる家庭や子どもがいたら、気をつけて見守り、おかしいと思ったら相談機関に通報する。
- 専門機関との連携を密に行うこと。

○：小郡市地域福祉計画 分野別課題調査より

(2) 地域における生涯学習について（家庭教育、地域活動など）

自由回答等からの関連意見をみると、子どもとの接し方がわからない親が多い、また子育てに関する知識を得る場が少ないとの意見がみられます。子育ての基本である家庭教育について、学ぶ機会・場の充実を図る必要があります。

また、子どもの体験・コミュニケーション不足に関する意見もみられるため、地域における体験・交流活動の促進が求められます。

自由回答等より関連意見

- 子どもとのかかわり方が分からない。保護者がストレス解消する時がない。祖父母からの学びを受けにくい。
- 子どもとの接し方がよく分からない親も多い。
- 子育ての仕方についての知識を十分に得られない。
- 塾やスポーツクラブに通う時間以外はテレビやゲームに依存しすぎて、地域の友だちとの交流がなくなり、協調性が失われているような気がする。いろいろな地域でのイベントに参加して、体験し、友だちの輪を広げていく。
- 自然体験、外での遊び、集団・異年齢の子たちとのコミュニケーションが足りないように思う。
- 習いごとが多く、子どもの地域行事への参加が難しくなっている。

○：小郡市地域福祉計画 分野別課題調査より

